

発言No.           

受付No. 5

令和 4 年 8 月 23 日  
10 時 13 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 5 番 氏名 沖田真治

答弁を求める者  
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1 空き家対策について

#### (1) 現状について

当市において空き家になる件数が、年々増加傾向にあり平成 30 年度時点で空き家総数 4520 戸となっており住宅総数に占める空き家率は 15.7%と全国平均 13.6%と比べ高い水準となっている。適正に管理されていない場合は周辺住民に様々な問題を引き起こす大きな課題と考え以下の通り質問する。

- ① 令和元年度から令和 3 年度までの空き家に関する相談件数を伺う。
- ② 相談を受ける内容で最も多い内容について伺う。
- ③ 現在把握している空き家総数の中で所有者が不明や不在な空き家件数を伺う。

## (2) 対策について

- ① 令和元年度から令和 3 年度までに住民から相談を受け市が所有者等に対し指導などを行い改修や除却などにより、問題解決に至った件数を伺う。
- ② 令和元年度から令和 3 年度までに空き家バンクの利用件数と制度を利用し取得に至った件数を伺う。
- ③ 都市計画マスタープランに長期未着手となっている都市計画道路の見直しとある。特に旧浜田市内の市街地に多くの狭隘な道路に面して宅地が建設されているため、利活用が進まない要因となっていると思っており、狭隘な道路を整備し直すことで利用価値が増せば有効な空き家対策となるように思うが都市計画道路の整備や見直しについて市としての考えを伺う。

発言 NO

2

受付 NO

10

令和4年 8月 24日

9時33分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 12番 氏名 上野 茂

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会  
委員地域地

### 発言項目及び要旨

#### 1 浜田市におけるこれからの観光振興について

先月出雲市において島根県市議会議員研修会が行われた。

その中で「島根県におけるアフターコロナの観光地づくり」。少子高齢化時代の島根県の未来戦略、観光による関係人口の創出と地域ブランドの確立に向けて、と題して国土交通省「全国道の駅」有識者懇談会委員の講演をお聞きした。

これを踏まえ、以下のとおり質問する。

- ①浜田市における過去5年の観光入込客の推移を伺う。
- ②観光客減少のなかで、今後の観光客を増やす取組みの考えを伺う。
- ③交流、体験によるファン拡大の考えを伺う。

#### 2 安全・安心なまちづくりについて

##### (1) 教育現場における諸問題について

- ①浜田市の不登校の現状について伺う。
- ②要因を児童生徒から聞き取っているのか伺う。
- ③校庭や通学路での危険木の確認はできているのか伺う。
- ④特別教室のエアコン設置について伺う。

##### (2) 高齢者介護における諸問題について

- ①浜田市の高齢者虐待の現状について伺う。
- ②その後の対応について伺う。
- ③介護施設が抱える人材不足の現状について伺う。



発言No. 3

受付No. 2

令和4年8月22日

8時55分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 10番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者  市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 農業の振興について

##### (1) 浜田市弥栄肉用牛改良流通センターについて

- ① 浜田市弥栄肉用牛改良流通センターが、浜田市そしてJAしまね いわみ中央管内で、果たしてきた役割と運営の現状について伺う。
- ② 委託先のJAが撤退した場合、管内の繁殖農家へ与える影響を伺う。
- ③ 繁殖農家は近年減少の一途をたどっていると認識しているが、その状況と理由について伺う。

##### (2) 組み合わせ作物について

- ① 浜田市は、儲かる農業の推進を行うために、振興作物の指定やそれと共に組み合わせ作物「アスパラガス・大豆・インゲン・アスッコ・キャベツ・ナス」の指定を行い、農家所得500万円を目指し、平成27年度から取り組んできたが、その成果を伺う。

##### (3) 圃場整備事業について

- ① 圃場整備事業は、浜田市のモデル地区として弥栄地域で行われることになっている。来年度より設計を行い、令和10年度に事業が終わる予定で計画面積は59.3haと聞いている。圃場整備にあたり、県推進の高収益作物「アスパラガス・キャベツ・タマネギ・ブロッコリー・白ネギ・ミニトマト」いずれかを取り扱うことになると聞けるが、作付けや担い手について、浜田市としてどのように取り組んでいくのか、状況を伺う。

(4) 水害対策、田んぼダムについて

- ① 台風や集中豪雨で毎年のように水害が発生し、「治水」が課題となっている。農家を含む住民の納得と合意の上で、水害に強い地域づくりを進めるべきと思うが、「田んぼダム」について、市の考えを伺う。

発言No.

4

受付No.

14

令和 4 年 8 月 24 日  
9 時 56 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 2 番

氏名 村 木 勝 也

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1 地域防災力の向上について

#### (1) 「自主防災組織」の結成及び育成の支援について

- ① 令和元年度から現在までの組織率について伺います。
- ② 組織の結成が困難な理由は何が挙げられますか。
- ③ 組織の結成において、市はどのような支援をしていますか。
- ④ 既に結成されている組織の構成は、3つのタイプ分けでどのような比率ですか。
- ⑤ 組織の育成において、市はどのような支援をしていますか。
- ⑥ 令和7年度の目標値である90.0%を越すために市は、今後どのような対応をされますか。

#### (2) 学びの機会である「防災出前講座」について

- ① 開催回数目標値に対し、現状を伺います。
- ② どのような単位で、どのような内容の要望があるのか伺います。
- ③ 市民から申請がある「防災出前講座」とは逆に、市から打ち出した研修・イベント(防災訓練除く)があれば教えてください。
- ④ まちづくりセンターや地区まちづくり委員会が単独又は市と連携して行った研修・イベントがあれば教えてください。
- ⑤ 浜田市のホームページにある「避難所運営マニュアル」は、誰のためのマニュアルですか。

#### (3) 自ら避難することが困難な「避難行動要支援者」について

- ① 「避難行動要支援者名簿」を現在どのように活用していますか。

- ② この度の浜田市防災訓練前に自主防災組織に名簿を提供したと聞いています。訓練にどのように活用され、どのような課題があったか検証されましたか。
- ③ 個別避難計画の策定状況についてお聞きします。
- ④ 今後、市は、個別避難計画の策定にどのような支援や対応されますか。

(4) 地域住民が作成する「地区防災計画」について

- ① 浜田市地域防災計画書に「地区防災計画」が正式な位置づけが無い中、現在、市内において、地域の共助における防災活動の計画を策定している団体は、いくつありますか。
- ② 浜田市地域防災計画書に「地区防災計画」の正式な位置づけを、いつ行う予定ですか。



発言No.

5

受付No.

20

令和 4 年 8 月 24 日  
10 時 45 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 6 番

氏名 足 立 豪

答弁を求める者  
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1 人口減少とまちの存続に対する考え方について

2014年、民間有識者で作る日本創生会議において「消滅可能性都市」について発表された。全国 1799 自治体のうち 896 自治体が該当し、浜田市も該当していることは周知の事実である。

今一度確認すると、消滅可能性都市とは「2010年から2040年にかけて、20～39歳の若年女性人口が5割以下に減少する市区町村」であると定義されている。

このことを踏まえ、状況と考えを伺う。

#### (1) 現在の人口減少について

①浜田市の令和4年7月末時点の人口は50,920人だが、総合振興計画の人口推移と比較した場合の考え方を伺う。

#### (2) 出生数の状況について

①過去5年間の出生数の推移を伺う。

②令和4年度の出生予定数をどのように考えているのか伺う。

#### (3) 人口減少と出生数の状況について

①人口減少と出生数の現状を踏まえ、浜田市の行政運営をどのように考えているのか伺う。

### 2 固定資産税について

基礎的な行政サービスを提供する自治体の財源を支える固定資産税について現状と考えを伺う。

(1) 固定資産課税の現状について

- ①固定資産税の算定基礎となる地籍調査進捗率は市街地では約 16%とのことだが、固定資産税の要である市街地への課税に対する影響を伺う。
- ②これまで、固定資産における標準課税税率を上回る徴収をした金額は約 42 億であるが、そのうち地籍調査へ投資した金額を伺う。
- ③公図混乱地域の現状を伺う。

(2) 課税税率の見直しについて

- ①浜田市の高齢化率 37.73% (R4.7月末) と、今後の加速度的な人口減少の中で課税税率の見直しについて伺う。

3 浜田市の介護の現状について

浜田市の高齢化率は7月末で37.73%と高く、介護認定率も浜田市は23.2%の状況である。こうした中、住み慣れた場所で自分らしく暮らしていく地域を目指し、介護サービスを活用しながら生活を維持している市民もたくさんおられる。また、介護度が高くなれば日常生活用具が必要となってくる場合が多いが、支援策について伺う。

(1) 日常生活用具の必要な方について

- ①日常生活用具に対する購入等助成について伺う。
- ②メンテナンス費用等の考え方について伺う。

発言No.

6

受付No.

7

令和4年8月23日

16時01分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 4 番

氏名 三浦大紀

答弁を求める者

(○をつける)

○市長 ○教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 新しい地域づくりにおける社会教育の振興について  
令和3年4月からスタートした協働のまちづくりの新体制。その体制整備（強化）によって、社会教育を土台とした新たなまちづくりはどのように変化したか。現状の把握とともに、今後の課題等について以下の通り質問する。

(1) 社会教育に関する浜田市の基本的な考え方・状況について

①浜田市における、社会教育をとりまく状況をどのように捉えているか。

(2) 新しい仕組みの現状について

①まちづくりセンターへの移行状況をどのように捉えているか。

②まちづくりコーディネーターの設置状況をどのように捉えているか。

③新しい仕組みへの移行による他事業への影響はどの程度生じているか。

(3) 社会教育士の人材活用について

①社会教育士をどのように活用しているか。

②社会教育士の育成についてどのように考えているか。

以上

